**2018年5月15日**

**スライド１　表紙**

**社長の夏井でございます。**

**どうぞよろしくお願い致します。**

**本日は多くの企業の決算説明会が集中している中、**

**当社の決算説明会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。**

**さて、２０１７年の建設業界の動向を振り返ってみます。**

**スライド２　業界動向**

**建設業界は、**

**２０２０年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた**

**関連施設やインフラ整備、**

**首都圏の再開発など拡大傾向が続いておりますが、**

**一方では、技能労働者、技術者不足は**

**依然、建設業界の構造的な課題でもあります。**

**また、長時間労働是正など働き方改革に伴う取り組みは、**

**業界の喫緊の課題であります。**

**そして、ＡＩやＩOＴを活用した技術革新への対応や、**

**生産性向上への取組は不可欠であります。**

**このような環境の中、２０１７年度から新たな中期経営計画**

**「SNK Value Innovation　２０２０」をスタートさせました。**

**本日は、その初年度の業績を報告させていただきます。**

**スライド３　目次**

**それでは、目次に従いましてご説明致します。**

**昨日、決算短信を公表致しました２０１７年度連結決算の**

**概要についてご説明致します。**

**スライド４　受注高、繰越高**

**まず、受注高につきましては、**

**前年比２．６％増の１，１４３億２千万円となりました。**

**繰越高については、**

**前年比３．１％増の８７０億６千４百万円となりました。**

**スライド５　完工高、利益**

**また、完工高につきましては**

**前年比１０．４％増の１，１１７億４千２百万円となりました。**

**利益につきましては、**

**完工総利益は、**

**１１９億５千６百万円、完工総利率は１０．７％、**

**営業利益は、**

**９．７％増の４２億７千４百万円、**

**経常利益は、**

**１０．１％増の４６億４千４百万円、**

**当期純利益につきましては、**

**１７．５％増の３４億４千９百万円となりました。**

**次に、連結貸借対照表について、概要をご説明致します。**

**スライド６　貸借対照表**

**ご覧のように「総資産」は、前年比１１６億４千５百万円増の９９５億６千６百万円となりました。**

**その主な要因は、期末に工事が集中し、**

**「受取手形・完成工事未収入金等」が**

**８６億３千百万円増加したことによるものです。**

**次に「負債」は、前年比８３億９千６百万円増の、**

**５６５億４千７百万円となりました。**

**その主な要因は、完成工事未収入金と同様、期末に工事が集中し、**

**「支払手形・工事未払金」が６２億７千７百万円増加したこと、**

**「短期」が１９億９千５百万円増加したことによるものです。**

**次に「純資産」は、**

**前年比３２億４千８百万円増の４３０億１千９百万円となりました。**

**主な要因は、**

**当期純利益３４億４千９百万円を計上したことによるものです。**

**次に、分野別の受注高・完工高の実績についてご説明致します。**

**スライド７　分野別受注実績**

**受注高ついては、**

**国内一般の新築工事は、**

**前年比１６．９％減の３９８億　百万円、**

**リニューアル工事は、**

**前年比９．４％増の４５９億３千万円、**

**また、原子力分野については、**

**前年比２６．５％増の１２０億５千８百万円となりました。**

**国内関係会社は、**

**前年比３．６％増の７４億４千百万円、**

**海外関係会社は、**

**前年比８６．６％増の９０億８千８百万円となりました。**

**スライド８　分野別受注の概要**

**分野別の受注の概要を説明します。**

**新築分野の受注高減は、前年度の首都圏再開発や**

**産業案件の反動減、受注を予定した案件の期ズレなどが影響しました。**

**リニューアル分野の受注高は、**

**保健分野・産業分野ともに好調を維持した結果であります。**

**原子力分野については、新規制基準対応の改修案件や**

**福島廃炉関連の新築案件の受注が大幅増に寄与しました。**

**国内関係会社は、日宝工業、新日空サービスともに計画通り**

**進捗した結果、前年比増となりました。**

**海外関係会社の大幅増につきましては、モルジブにおける**

**大型リゾートホテルの受注が大きく寄与した結果です。**

**スライド９　分野別完工実績**

**次に、完工高の実績については、**

**国内一般の新築工事は、**

**前年比３３．８％増の４４４億４千８百万円、**

**リニューアル工事は、**

**前年比４．８％減の４２８億４千８百万円、**

**また、原子力分野については、**

**前年比３．５％減の８８億０千２百万円となりました。**

**国内関係会社は、**

**前年比８７．２％増の９５億６千８百万円、**

**海外関係会社は、**

**前年比３０．４％減の６０億７千４百万円となりました。**

**スライド１０　分野別完工実績の概要**

**分野別完工の概要を説明します。**

**まず、新築分野の完工高の増は、大型産業案件の完成や、**

**首都圏再開発案件が順調に進捗しました。**

**リニューアル分野の完工高減は、**

**前年度の大型熱源改修案件の反動減の影響です。**

**原子力分野については、**

**新規制基準対応の改修案件の期ズレによるものです。**

**国内関係会社は、**

**日宝工業の大型改修案件の完成が寄与した結果であります。**

**海外関係会社は、大型案件の進捗遅れなどの要因が影響しました。**

**スライド１１　２０１１年度からの実績**

**以上、2017年度の決算の概要をご説明させていただきました。**

**前年度までの中期経営計画の実績を改めて振り返りますと、**

**過去6年間、受注高、完工高、次期繰越高、利益とも順調に推移してまいりました。**

**スライド１２　決算のポイント**

**そして、2017年度は、**

**受注高、繰越高は、８期連続の増、**

**完工高は、３期連続の増、**

**当期純利益は、７期連続の増で、過去最高益、**

**ROEは8.4％となり、**

**中期経営計画「SNK Value Innovation　２０２０」**

**初年度の計画を達成することが出来ました。**

**さて、これまでは２０１７年度の決算の概要を**

**ご説明させていただきました。**

**次に、２０１８年度の業績見通しをご説明させて頂きます。**

**スライド１３　分野別受注計画**

**受注高は、**

**個別９８０億円、連結１，１５０億円を目指します。**

**前年度同様、首都圏の再開発、**

**好調なインバウンドを反映したホテル計画、**

**当社の技術を活かすエネルギープラント、データセンター、**

**電子デバイス、医療・医薬関連、食品関連、原子力分野など**

**国内外ともに好調な受注状況を予想しております。**

**スライド１４　分野別完工計画**

**完工高は、個別９９５億円、連結１，１５０億円を目指します。**

**スライド１５　損益計画**

**損益計画は、**

**２０１８度連結完工高１，１５０億円で、**

**当期利益として３７億円の連続最高益を目指す計画でございます。**

**スライド１６　中期経営計画目標修正**

**なお、**

**中期経営計画の最終年度の計画値を昨年公表しておりますが、**

**利益については、当初掲げた最終年度の目標である３４億円を**

**２年前倒しで達成したこと等を勘案し、**

**最終年度の目標として、受注高・完工高は計画値通りとするものの、**

**当期純利益については４０億円に修正することにいたしました。**

**次に利益配分に関する基本方針についてご説明致します。**

**スライド１７　株主還元**

**当社は、株主の皆様に安定的かつ継続的に成果の還元を行うことを**

**経営の最重要課題としており、総還元性向５０％を指標として、**

**配当については、**

**当社グループの中長期的な成長へ向けた事業展開、**

**経営基盤の強化等を図りながら、**

**連結配当性向３０％以上を目標として、**

**安定的な配当を実施していくこととします。**

**また自己株式取得につきましては、**

**発行済株式総数の１０％を上限に、**

**資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的とし、**

**今後も弾力的に実施してまいります。**

**次は「SNK Value Innovation　２０２０」の基本方針ならびに**

**三つの基本課題を振り返ります。**

**スライド１８　中期経営計画　イメージ図**

**当社は、新日本空調として設立５０周年を迎える２０１９年を、**

**来たる次世代の５０年間に向けた「飛躍の年」と位置づけ、**

**当社創業９０周年となる２０２０年以降の近未来に**

**当社グループがパイオニアとして培ったＤＮＡと**

**成長ベクトルをつなぐ新たな３カ年経営計画**

**「ＳＮＫ　Ｖａｌｕｅ　Ｉｎｎｏｖａｔｉｏｎ　２０２０」**

**を策定しました。**

**スライド１９　中期経営計画　基本方針**

**基本方針を、**

**「地球環境の保全と持続可能な地球社会の実現に貢献する**

**環境ソリューションカンパニーとして、**

**顧客や社会の要請に応え、**

**２０２０年代への持続的成長と新たな企業価値の創造を目指す」**

**と定め、これを実現するために、**

**・顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略の展開と推進**

**・安全・品質確保と生産性向上に向けた設計施工技術と**

**情報技術の融合**

**・透明性の高い経営基盤の構築と**

**社会ニーズに沿った経営資源活用の健全化**

**三つの基本課題を掲げております。**

**それでは、中期経営計画の2017年度の進捗成果を紹介しながら、**

**今後の展望ついてご説明させていただきます。**

**投影するスライドには、**

**お手元の資料にはないスライドもございますので、**

**前方のスクリーンをご覧ください。**

**スライド２０　顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略（１）**

**顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略では、市場背景として、**

**まず、東京オリンピック・パラリンピック以降の見通しです。**

**首都圏再開発案件の傾向としては、**

**２０２１年、２２年には一旦落ち着きを見せるものの、**

**その後都心中心部では複数の再開発案件が集中していくことが**

**予想されております。**

**これら再開発においては、エネルギーのスマート化、**

**需要家連携、需給連携がさらに進むものと考えられます。**

**この分野において、当社は既に多くの実績があります。**

**事例として、**

**２０１７年度に竣工したスマートエネルギーセンターを**

**ご紹介させていただきます。**

**スライド２１　田町エネルギーセンター導入事例**

**東京ガスエンジニアリングソリューションズ様が施主である**

**田町スマートエネルギーセンター第２プラントは、日本で初めて、**

**複数のスマートエネルギーネットワークを連携させる取組みであり、**

**当社独自開発の熱源最適制御システム「エナジークエスト」が**

**導入されております。**

**エネルギーに関する情報のネットワークと連携し、**

**熱源機器等を高効率に運転し、**

**地区全体のエネルギー需給の最適化を実現しております。**

**２０１８年度も、**

**引き続きシステムのバージョンアップによる機能強化を図り、**

**スマートシティ構想への貢献、**

**２０２０年度以降の需要への対応を目指してまいります。**

**スライド２２　顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略（２）**

**次に建設ストックや公共インフラ更新に対する対応として、**

**水平垂直ワンストップの進化も成果の一つです。**

**当社の強みとする垂直ワンストップソリューションの展開と、**

**関係会社や電気、防災分野を含めた環境ソリューション全般の**

**コラボレーションによる水平ワンストップソリューションの拡充を**

**進めてきました。**

**新日空サービスとの協働による垂直方向のワンストップを強化し、**

**施工/保守分業化の推進と保守保全業務の拡大に資する活動も**

**成果を上げ、新日空サービスとして創業以来の最高益となりました。**

**2017年度は、日宝工業が当社のグループに入り、**

**貢献したことが大きな成果です。**

**電気分野での事業拡充を図りながら、空調分野や**

**プロセスユーティリティ分野など、水平方向ワンストップの拡充に**

**引続き注力してまいります。**

**建設ストックの増加によるリニューアル需要も高まってきており、**

**公共施設インフラの老朽化整備のニーズも含め、**

**潜在的リニューアル需要は今後も伸びていくものと思われます。**

**この分野では、３Dレーザー計測によるCAD化技術を**

**ご紹介いたします。**

**スライド２３　3Dレーザー計測**

**既存建造物の内部を撮影し、データモデリングしたのち、**

**３DCADに展開する技術で、**

**スライド２４　3Dレーザー計測**

**ここでは、神奈川県の某音楽ホールでの事例をご紹介いたします。**

**スライド２５　3Dレーザー計測実演**

**３Dスキャナーで、レーザースキャンを行い、点群データを集め、ヴァーチャルリアリティの空間を再現するものです。**

**ご覧の通り、音楽ホール特有の複雑な内装デザインを**

**反映していることがわかります。**

**これをもとにモデリングを行い、**

**スライド２６　モデリング**

**CADデータの中でリニューアル計画を行うものです。**

**これらの技術は、**

**現場調査の省力化に貢献すると期待しております。**

**また、そこに当社の流体解析技術と**

**システムシミュレーション技術を融合させた高度な解析により、**

**お客様からはとても高い評価をいただいております。**

**2018年度は、この技術のさらなる普及に努め、**

**お客様へのソリューション提案の迅速化と**

**BIM化への橋渡しを行っていきます。**

**スライド２７　成長戦略　省エネ　第4次産業革命**

**エネルギーの観点では、省エネルギーに資する対応と、**

**第4次産業革命と称される情報化社会への対応が挙げられます。**

**省エネルギーに関しては、**

**太陽熱、地熱、太陽光発電等の再生可能エネルギーを活用した**

**ソリューション提案を推進していくことになりますが、**

**工学センターや技術開発研究所では、それら再生可能エネルギーを**

**活用したZEB化技術の取り組みを進化させ、**

**実現可能なソリューションとしてお客様に公開する活動を**

**進めてきましたが、**

**スライド２８　ZEBプランナー**

**2017年度は、横浜市にある工学センターでの**

**省エネ実績を元にＺＥＢプランナーの登録を行い、**

**省エネ志向のお客様のニーズに対応できる体制を構築しました。**

**スライド２９　ZEB Ready,BELS**

**また、空気調和衛生工学会が定めるＺＥＢの認定基準で**

**５０％以上の省エネを達成し、**

**ＺＥＢReadyの認定を受けるとともに、**

**国土交通省「建築物　省エネルギー　性能表示制度」で**

**ＢＥＬＳの“五つ星”も取得しました。**

**これらは、顧客ニーズに即した技術であり、**

**従来顧客はもとより、**

**ZEB化を必要とする新規顧客開拓に資するものであります。**

**スライド３０　成長戦略　省エネ　第4次産業革命**

**第4次産業革命と云われているIOT、ビッグデータ、人工知能、**

**ロボット等の先端技術の活用を支える情報技術に**

**欠かせないのがクラウドであり、日本のみならず、**

**当社の海外事業領域であるアジアにおいても**

**数多くのデータセンターの実績を積み上げてきました。**

**ここで活躍したのが、**

**流体解析やシステムシミュレーション技術です。**

**スライド３１　流体シミュレーション**

**只今、流体解析の事例をお示ししておりますが、**

**スリランカにおける水蓄熱層の温度変化を**

**シミュレーションしたものです。**

**スリランカは昼と夜の電気料金の格差が日本以上に大きく、**

**安価な深夜電力で冷水を蓄熱し、日中の冷房に活用するため、**

**蓄熱層を高い効率で運転する省エネルギーが求められていました。**

**次に、データセンターでの事例ですが、**

**スライド３２　データセンター事例**

**この事例は、冬の時期外気とサーバールームから**

**戻ってくる空気の温度差が大きいために、**

**どのようにしてサーバールームの温度を均一に出来るかを、**

**事前にシミュレーションし、検証したうえで、**

**施工に結び付けた事例です。**

**このようなシミュレーションに基づいた施工事例としては、**

**只今、ご紹介した福島県某データセンターのほか、**

**シンガポール、中国でのデータセンターです。**

**そして、シミュレーションを効果的に検証する施設として**

**スライド３３　データセンター実験装置**

**長野県茅野市にある技術開発研究所を全面リニューアルし、**

**データセンターの専用の実験施設を設けました。**

**今後はさらに現場でのソリューションと結び付け、**

**クラウド化ニーズに貢献してまいります。**

**次は、当社注力事業領域である原子力と海外分野です。**

**スライド３４　成長戦略　原子力、海外**

**原子力分野におきましては、**

**いままで、原子力事業で培ってきた技術開発力を活かし、**

**新規制基準対応と安定化や廃炉に向けた総合的な取り組みを**

**強化し、大幅な受注増に結びつきました。**

**主な受注案件としては、福島での廃炉対応案件が挙げられます。**

**原子力におきましては、引き続き、**

**新規制基準対応と安定化に向けた取り組みを継続していきます。**

**アジアでの事業につきましては、海外事業統括本部による**

**三つの現地法人体制の流動性を高めた展開を進めてまいりました。**

**また、日本国内のみならず海外にも事業展開をしている**

**お客さまに対し、日本とアジアを面でサポートする**

**国内外ワンストップソリューションを展開し、**

**日本からアジア、あるいはアジアから日本といった**

**グローバルな顧客展開にもタイムリーに対応し、**

**日本、アジア両面でサポートさせて頂くお客様が増加しております。**

**2017年度の主な竣工案件としては、長年お取引を頂いている、**

**スライド３５　コロンボシャングリラ**

**シャングリラのコロンボホテルや**

**スライド３６　乳飲料メーカー**

**国内乳飲料大手のミャンマー進出に伴う製造プラント等が**

**挙げられます。**

**しっかりと面でサポートさせて頂いた実績と考えています。**

**スライド３７　成長戦略　先端医療、医薬**

**将来に向けた投資と体制の強化の観点では、**

**成長分野であるiPS細胞に代表される再生医療分野や**

**先端医薬・バイオ分野等の戦略事業領域に向けた対応も重要です。**

**2018年度は、医薬品、医療・介護技術の研究開発に資する**

**バイオ空調技術の開発を継続し、**

**治験環境と空調技術の融合、空調業界におけるナノ技術開発の**

**パイオニアとしてのウイルス検知や**

**気流制御技術による安全性確保に向けた技術開発の展開を図り、**

**ウイルス感染症対策や再生医療分野に資する研究に注力して**

**いきます。**

**ここで、浮遊ウイルスのセンシング研究の例をご紹介します。**

**スライド３８　ウイルス研究**

**空調換気システムに潜む浮遊ウイルスを検出し、**

**特定することを目的として民間企業、大学、研究機関との**

**オープンイノベーションにより、**

**浮遊ウイルスのリアルタイムセンサの開発に結び付けたいと**

**考えております。**

**次に、二つ目の課題である「安全・品質確保と生産性向上に向けた**

**設計施工技術と情報技術の融合」についての進捗と今後の展開です。**

**スライド３９　働き方改革・安全品質**

**冒頭の業界動向でも触れましたように、**

**働き方改革に対する取組は、喫緊の課題でもあり、**

**10月には「働き方改革」を迅速・強力に実現するため、**

**社長直轄の組織として「ワーキングイノベーション室」を**

**開設しました。**

**現場の業務仕分を行いつつ、本業の工事業務管理の更なる効率化、**

**省力化に向けたシステムの開発に着手しました。**

**従来の管理手法を全社同一レベルでいつでもどこでも、**

**スマートに取り扱うことが可能な仕組みであり、**

**今年度運用を開始します。**

**また、経営の最重要課題である安全・品質管理においては、**

**トラブルの事例解析から、基本に立ち返った見直しを行い、**

**トラブルの削減に取り組んでおり、徐々に成果を上げております。**

**そして、現場作業の効率化を目的とした環境整備も併せて**

**推進しており、**

**スライド４０　ポータルサイト、ビジネスチャット**

**現場作業に適したポータルサイトへの転換と**

**ビジネスチャットの展開、**

**これを実現するため全職員に情報端末の配備を実施しました。**

**スライド４１　ＩＣＴ活用**

**2018年度は、ICTの進化を踏まえたデジタル化を推進し、**

**業務効率化と自動化を促進させるとともに、マーケット、**

**顧客の求める最適なビジネスモデルへ進化、**

**変革させる全社活動を推進させます。**

**既にRPA導入の準備も進めており、**

**今年度中には成果をご報告できると考えています。**

**スライド４２　自己株取得、ワークライフバランス、ＥＳＧ経営**

**三つ目の課題である「透明性の高い経営基盤の構築と**

**社会ニーズに沿った経営資源の活用の健全化」においては、**

**2017年度は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の中で、**

**株主還元の一環として自己株式取得を実施しております。**

**働き方の多様性の取組についても、**

**テレワーク、フレックスタイムの導入について、**

**今年度検討を開始してまいります。**

**企業価値向上に向けたＣＳＲ活動も引き続き推進していきますが、**

**今年度からは、ＥＳＧ経営に向けた体制の構築を行います。**

**以上、中期経営計画の2017年度の進捗成果を紹介しながら、**

**今後の展望について概要をご説明致しました。**

**スライド４３　タイトルエンド**

**最近のニュースリリース資料をお手許に配布しておりますので、お読みいただきたいと存じます。**

**スライド４４　決算に関するご質問**

**尚、この後、ご質問をお受けしますが、**

**会場の時間の都合上、全てにお答えすることができないと**

**思われますで、明日以降、お質問が御座いましたら、**

**当社広報課へご連絡願います。**

**個別取材にも対応させて頂きます。**

**ご清聴ありがとうございました。**

**以上**